

学校名 飯能市立加治東小学校
所在地 飯能市岩沢1243
電話 042-971-1707

1 本校の概要

本校は、全校児童 232 名で低学年以外全学年単級の学校である。周りを加治丘陵に囲まれ自然豊かな環境である。体を動かすことが好きな児童が多く、以前は進んで読書をする児童があまりいなかったが、最近空き時間等に読書をする児童が増えている。昨年からは、各学年に必読書を司書教諭と選定し、完読できた児童を表彰するなど読書に親しめるよう取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・読書月間に関わる取組

(2) 実践の概要

読書に親しむ態度や読書習慣を身につけるため、朝の読書や読み聞かせなどをはじめ、各学年に必読書を選定し取り組んだ。また、読書月間にもたくさん本に触れることができるようにした。

ア 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

各学年に必読書5冊を選定した。図書室に必読書コーナーを設置した。全て完読した児童は完読賞として廊下に掲示をした。



図書室前の掲示板に新しく入った本やおすすめの本の表紙を掲示し興味を持てるようにした。また、各学期の多読賞を発表し、進んで読書をした児童を称賛する機会を設けた。



イ 読書月間の取組

各クラスに読書の本を作り、11月の1か月間取り組んだ。頑張りが分かるように可視化した。



たくさん本に出会い触れられるように、こども図書館の方にお願ひし、ブックトークをしてもらった。また、違う国の話にも触れられるよう国際子ども図書館から本を借りた。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 昨年は年度途中から必読書の取組を始めたが、今年度は、年度当初から取り組むことができ、時間をかけることができた。また、図書室前の掲示物に子どもたちが立ち止まって見る姿をよく見かけた。興味を持つ姿が見られた。

イ 読書月間にさまざまな取組を行うことができた。今まで触れたことのない本にも触れることができた。

(2) 課題

ア 必読書が各学年5冊で少なかったため、次年度からはもう少し冊数を増やして取り組みたい。

イ 読書月間を通し多くの本に触れる機会を作ることができた。これを機に、読書をさらに高めたい。

(3) おわりに

今後も、読書習慣が十分身に付くように、継続して取り組んでいきたい。